



## 横浜市立学校管理職等人事異動について(平成 28 年 4 月 1 日付)

### 1 平成 28 年度の管理職人事の特徴

学校管理職の人事異動については、これまでの成果と課題を踏まえつつ、「横浜教育ビジョン」の実現に向けて、人材育成、能力開発を図るとともに、学校組織の活性化を推進していくため、人事異動制度の基本原則に基づいて全市的な視点から適材適所の配置を行いました。

管理職人事異動規模(異動・昇任・新規再任用) 409人(372人) ( ) 昨年度

#### <重点事項>

##### ア 校長の学校経営ビジョンを考慮した配置

市立学校では、学校管理職が多面性をもつ大都市横浜の地域特性を踏まえ、明確な学校経営ビジョンをもってリーダーシップを発揮し、学校の組織力を高めていくことが求められています。

そこで、校長が、教職員や地域との関係をしっかりと築き、開かれた学校づくりや特色ある教育活動を推進できるようにするため、同一校の在任年数に配慮するとともに、校長の学校経営ビジョンを考慮した副校長の配置を行いました。

- (例)・教育活動や学校運営の現状を熟知し、人材育成にリーダーシップを発揮できる人材の配置
- ・現在の経営ビジョンを深く理解し、安定した力量を発揮できる現副校長の継続配置

##### イ 異校種間の校長・副校長の異動

小中学校では、「横浜版学習指導要領」に基づいて9年間を見通したカリキュラムを編成するとともに、地域特性を生かした取組テーマを設定し、連携を一層強化しながら学力向上と児童・生徒指導の充実に取り組んでいます。

平成 22 年度には西金沢小中学校、平成 28 年度からは霧が丘義務教育学校を開設し、さらに、小中一貫した特色ある教育活動の広がりをつくっていくとともに、異校種経験による管理職の視野の拡大、能力開発を図っていくため、全市的な視点で、異校種間の管理職異動を行いました。

① 校長異動	小→中 5人、中→小 3人、特→中 1人	計 9人( 1人)
② 校長採用	中→小 9人、高→小 1人、高→中 1人	計 11人( 6人)
③ 校長代理昇任	小→高 1人	計 1人( 0人)
④ 副校長異動	小→中 1人、中→小 8人、中→高 2人、 特→小 2人、特→中 1人	計 14人(24人)
⑤ 副校長昇任	中→小 1人、中→高 1人、特→小 2人	計 4人( 0人)

( ) 昨年度

※小……小学校、中……中学校、特……特別支援学校、高……高等学校

裏面あり

## ウ 経験と実績のある人材の確保

管理職を含む教職員の大量退職、大量採用が続いており、中・長期的視点から計画的な教員採用を行うよう努めていますが、こうした状況は、今後も一定期間続くことが想定され、依然として優秀な人材の確保が課題となっています。

優れた人材を継続的に確保・育成していくために、全市的な視点で経験と実績のある校長の配置を行いました。

### (ア) 経験と実績のある再任用校長の採用

新しい学校経営の実践と後進の育成に対して熱意をもち、豊かな経験と優れた実績を有する校長を再任用として採用しました。

再任用校長 73人（小学校45人、中学校27人、特別支援学校1人）

※うち新規 25人（小学校17人、中学校8人）

### (イ) 統括校長の配置 38人

校長の学校経営力の向上を支援するため、意欲が高く能力や実績に優れた校長の中から平成21年度にモデル実施した統括校長を、平成22年度からは、小・中学校においては全区に1名ずつ、特別支援学校及び高等学校にも各1名を配置しています。

※統括校長の職務内容

- ①学校経営に関する研究
- ②校長相互の必要な指導助言
- ③「教育委員会運営方針」等の周知や情報提供

## エ 外部人材の校長採用

横浜市では、平成27年度、教育に求められる多様なニーズや課題に対して、新たな視点を取り入れた教育を推進していくため、6年ぶりに校長の公募を再開しました。

合格者について、横浜市としては初めて、副校長として6か月間の実地研修を行い、修了するため、平成28年4月1日付で、横浜市公立学校長として採用します。

配属校	氏名	現職	前職
桜台小学校 (保土ヶ谷区)	にしお たくろう 西尾 琢郎	横浜総合高等学校副校長 (大曾根小学校副校長兼務)	有限会社リンカーベル 取締役社長

※平成28年度選考についても、現在募集中です。（平成28年3月31日締切）

（平成28年2月19日付記者発表済）

## 2 横浜市立学校一般教員の人事異動について

教員人事異動規模(異動) 約1,629人(1,613人) ( ) 昨年度

お問合せ先
教育委員会事務局教職員人事課 Tel 045-671-3244